

## 【自動バックアップシステムの構築について】

個々の研究等で扱っている膨大なデータについては、万が一、パソコンがクラッシュしてデータが紛失した場合には、研究室としても大きなダメージになります。

更新されたファイルのみを自分でバックアップを取る作業は手間ですし、漏れも多いので、自分のパソコンに外付けした HDD や、共用デスクトップ PC にデータを自動バックアップする仕組みにしておくことをお勧めします。

バックアップソフトにはいろいろなものがありますので、各自の好みのあったものを選ぶのがよいですが、下記には、**BunBackup** というものをインストールして実行する手順を示します。

このソフトウェアの特徴としては、バックアップファイルに一度登録しておいたフォルダ情報を元にして、更新された箇所のみを自動的に探し出して高速でアップデートする、ことができる点です。手動で起動することもできますが、決まった時間に自動で行う設定にもできます。また、別のフリーソフトと組み合わせて、電源を落とす前に、自動的にバックアップをしてもらえようにも出来ます。

手順

1. 窓の杜のサイトから、**BunBackup** をダウンロードし、インストールを行なう。

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/sys/file/syncbackup/bunbackup.html>

2. アプリケーションを起動し、+マークをクリックして（もしくは、[編集]メニューから[追加]を選択）、バックアップしたい元フォルダに、自分の PC 上の対象としたいフォルダを、バックアップ先のフォルダとして、自分の外付けハードディスク（もしくは、地下プロのデータフォルダに置いた自分のバックアップフォルダ）を指定する。

3. [バックアップ]メニューから[バックアップの開始]を選択して実行する。

4. 2回目以降のバックアップを高速に行うには、[設定]メニューの[機能選択]で“高速ファイルチェック”の欄にチェックを入れておくと、更新されたファイルのみを自動的にバックアップしてくれる。

注意：メモリースティックなど、他の記憶媒体を接続したりしていると、指定していた HDD のドライブ番号が異なってしまふことがあります。その時は、面倒ですが、書き換えましょう。

(2009.4.17: Yu Umezawa)